



# 新宿小だより

学校教育目標  
やさしく  
かしこく  
たくましく



児童数 615名 令和3年3月2日 ホームページQRコード

## 令和2年度保護者アンケート調査結果について

昨年12月に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。結果のご報告をいたします。(回答数570)

A: そう思う B: 大体そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない (%)

No	評価項目	A	B	A+B	C	D	E
1	お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている	53.9	37.4	91.2	6.0	1.8	1.1
2	お子さんは、自分の学級が楽しいと言っている	58.9	35.3	94.2	3.9	0.9	1.1
3	お子さんには、仲のよい友達がいる。	73.2	22.3	95.4	2.6	0.5	1.4
4	お子さんは、先生に相談できる。	31.2	45.1	76.3	12.5	5.1	6.1
5	お子さんは、授業を理解している。	36.0	51.6	87.5	9.3	1.2	1.9
6	お子さんは、新宿っ子3つの柱(笑顔で挨拶、温かい言葉遣い、黙々清掃)ができています。	22.5	58.4	80.9	11.9	1.2	6.0
7	学校の教育活動に満足している。	28.4	61.4	89.8	5.4	1.4	3.3
8	学校は、学年、学級の教育活動の充実に努めている。	31.6	57.4	88.9	4.0	1.1	6.0
9	学校は、子供がかかやく授業の実践に努めている。	24.9	55.4	80.4	6.0	1.1	12.6
10	学校は、子供を理解し、個に応じた指導の充実に努めている。	23.3	57.2	80.5	10.9	1.8	6.8
11	学校は、地域との協力・連携による特色ある教育活動の充実に努めている。	19.6	60.7	80.4	4.6	0.7	14.4
12	学校は、子供に豊かな心を育成しようと努めている。	23.7	57.9	81.6	7.7	0.5	10.2
13	学校は、子供達が健康で安全な生活が送れるよう努めている。	38.4	55.3	93.7	3.2	0.5	2.6
14	あなたは、学校教育目標を知っている。	61.4	29.5	90.9	3.9	2.3	3.0
15	あなたは、学校の教育活動に参加・協力している。	28.9	56.3	85.3	9.3	2.6	2.8
16	学校は、保護者が参加しやすいよう行事等を工夫している。	28.4	57.0	85.4	8.2	1.8	4.6
17	学校は、教育情報の提供や家庭への連絡を積極的に行っている。	27.7	56.7	84.4	9.8	2.5	3.3
18	学校は、保護者、地域の願いに応えている。	16.0	61.2	77.2	8.2	1.1	13.5

- AとBを合わせて概ね80%から90%の項目が多く見られます。
- 「先生に相談できる」「学校は、保護者、地域の願いに応えている。」の項目は、特に、改善をして次年度へ生かしたいと思えます。
- その他の項目においても、今年度は、「わからない」という回答が多くありました。コロナ禍において、学校の教育活動が見えづらかったかと思えます。学校は、保護者や地域の皆様のご協力が不可欠です。新型コロナウイルスの状況をふまえつつ、教育活動に参加、協力しやすいよう工夫したり、より一層、学校の情報等を積極的に提供したりするよう努めてまいります。

## 学校評価について

学校の自己評価及び学校関係者評価がまとまりましたので、ご報告いたします。また課題につきましては、改善策をたて、教育活動の一層の充実に努めて参ります。

A：よくできている。特に課題は見あたらない。

○良いところ

B：概ねできているが、課題も少し見受けられる。

●課題

C：あまりできていない。課題も多く見受けられる。

☆改善案

D：できていない。課題が多く、解決には相当の努力が必要である。

領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
組織・運営	1 学校は特色ある学校づくりを目指しPDCAサイクルのもと、学校行事や学級経営、教科経営、分掌経営にあたり、学校教育目標達成に向けて組織的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>●もう少し部会で話し合ってから企画会や職員会議で提案するとスムーズになると思う。</li> <li>●組織的に取り組んでいるが「特色」はわからない。</li> <li>☆部会での協議が出来るよう時間の確保を行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の教育目標への指導體制は伝統的に引き継がれ、PDCAを効果的に、先見性を持って生かされている。</li> <li>○全教室を巡る中で、特色ある学校づくり、学級経営にも目標達成に向けて取り組んでいることが感じられた。</li> <li>●コロナ禍により行事等が出来ていないと思うのが残念。</li> </ul>
	2 学校は倫理確立委員会を機能的に活動させ、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事を根絶させるために取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的に委員の方が進められている。</li> <li>○研修を通して意識を高められたから。</li> <li>○職員会議後のアンケート等は有効。</li> <li>○毎月倫理委員会が設けられていて、取り組みが充実している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症が第3波へと拡大する中、1学期から教諭等は児童一人一人の命を守るため、必死の防疫体制に集中されたことに感謝する。</li> </ul>
	3 学校は災害や事故等のマニュアルを作成し、迅速に対応できる体制を整えるとともに、内容を教職員に周知させている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マニュアルが掲示されている。</li> <li>●手元にあるマニュアルが古いまま</li> <li>●学校の体制、もし起こったときのそれぞれの役割の共通理解の場があまりなかったと思う。</li> <li>●マニュアル内容を共有できていない。</li> <li>☆マニュアルの共有の時間を確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症の対応も含め、災害発生を予期し、子供達の「命を守る」教育指針として、初動、避難、訓練が定期的にカリキュラムに組み込まれていることがその表れとなっている。</li> </ul>

	4	学校は組織的に環境美化に努めるとともに、施設設備の適切な管理を行っている。	B	○必要なものと不必要なものが整理されてきている。 どこに何があるかわかりやすい。 ○職員室の整理が進んだ。 ●私物が置きっ放しの部屋がある。 ●点検はするが、問題箇所の改善がされていないところがある。 ●放課後消毒していない教室に声がけしていきたい。	B	○各教室整理整頓がよくできている。 ○1年1組児童を皮切りに、12月15日朝には2年生10名が東側樹林の落ち葉の清掃に「手伝います」の発声により開始。自主的行動に感動した。 ●学校ファームの農園整備をもっと考慮すべきだと思う。
教育課程・学習	5	学校は教育課程の編成・実施・評価を通し、教育活動の充実改善を行っている。	A	○定期的な委員会で評価できている。 ☆今年度から実施している教育課程を適切に評価し、次年度以降に生かせるようにしたい。	A	○先生方の教育表現は各自個性を取り入れたユニークな発想の下教育活動の充実・改善に努力されている。 ●国語力に課題があり個人差があることに課題研究の推進の取り組みがわかった。(3, 6年)
	6	学校は、個に応じた指導を行うなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための取組を工夫している。	A	○スマイル教室がとてもよい【7】 ○習熟度別学習、少人数指導が進んでいる。 ☆習熟度別学習、スマイル教室の一層の充実を図る。	B	○天候晴朗な日は努めて各学年共に体育指導され、基本に徹した児童らの技能向上をめざす研究も認められる。
	7	学校は川越市小・中学校学力向上プランを踏まえ、児童生徒の思考力判断力、表現力の育成のために、授業改善に取り組んでいる。	A	○授業スタンダードに沿って、進めることができている。 ○「振り返り」の充実を促進している。 ☆校内で学力向上プランを踏まえた授業改善について協議や授業提案をしていくと深まると思う。	A	○「学校だより」から考查結果を確認している。その中で、不得意な学科の向上が今後の課題であり研究材料だと考える。
	8	学校は学習ルールを定めて落ち着いた授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	○新宿小ルールブックに従って、共通指導ができている。 ○新宿小ルールブックの読み合わせをしている。 ●共通理解が、不足している。 ☆年度当初に、各教科のノ	A	○本校教諭陣の一貫性のある教育理念の下、児童の学年毎のステップアップ・成長の姿を実感する。 ○各学級が、とても落ち着いた授業をしている

				ートの取り方や、基本的な授業の流れなどの提案が重要だと思います。		る。集中力が子供達についていると感じた。
	9	学校は、児童生徒の体力向上に向け、児童生徒が体育や部活動・外遊びに意欲的に取り組むよう指導している。	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍のため、まだわからない部分がある。</li> <li>●コロナ禍のためできる範囲でしか指導できない。</li> <li>●運動量の確保が難しい</li> <li>●外遊びがなかなかできない。</li> <li>●今年は仕方ない。</li> <li>●体力向上に十分に組み合っていない。</li> </ul>	A	●1～3年生の体育活動に弱さを感じる。体力向上のため、体を動かすことを楽しめる工夫をしてほしい。
生徒指導	10	学校は、児童生徒の豊かな心を育み、適切な生徒指導を行っている。	A	<p>○ケース会議も行われていて一人一人の対応を考えられている。</p> <p>☆新宿小にも、特別支援学級ができると思います。</p>	A	●コロナ禍にあって子供達の心はやや萎んでいるように感じる。子供のフラストレーション・ストレスを少しずつ取り除くためにも「心と身体のキャッチボール」に創意工夫してもらいたい。
	11	学校は、児童生徒の主体的な取組を重視し、規範意識を高める指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>●制限が多くなかなか主体的にはなれなかった。</li> <li>●名札着用を徹底していきたい。</li> </ul> <p>☆主体的な取り組みではなく、枠に当てはめていくような取組が多くなってきているように思う。禁止するのではなく、向き合わせながらどうすべきなのかを考えさせるようにしていきたい。</p>	B	○6年生で若干名の児童が率先垂範して挨拶運動を展開している姿に感動する。
	12	学校は、いじめや差別を許さない態度を育成し、児童生徒が生命の大切さを学びお互いの良さを認め合える指導を行っている。	A	<p>○いじめアンケートを行い早期発見・早期解決に努めている。</p> <p>○いじめに対し、シート等を用いて丁寧に対応している。</p> <p>○いじめの認知と認定について研修を行うことで、認知件数が増えたが、丁寧な対応が行われている。</p>	B	<p>☆いじめの些細な現象は下校の見守りでも見受けられる。下校班の中でのトラブルであり原因は悪口が多い。子供の言い分を正しく理解し適切な忠告が必要である。</p> <p>いじめは、小さな潜在要因の早期発見が必要と考える。</p> <p>☆いじめや差別に気がついていない場合があ</p>

						<p>ると思う。様々な事例を通して意識変革と相手の気持ちを考えられるよう、育成してほしい。いじめは常に起こりうる状況にあると思っている。</p>
家庭・地域との連携	13	<p>学校は、開かれた学校づくりを目指して、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。</p>	A	<p>○年度当初の情報機器の活用研修がよかった。 ○WEBの活用ができた。コロナ禍でもできることを行っている。 ○学校のサイトの更新が頻繁に行われ、情報提供ができています。 ○授業参観はできていないが、学校だよりの発行が多く積極的に情報提供している。</p>	B	<p>●正しい情報をスピーディーに共有化し、的確な方策を打ち出して実施して、バランス感覚を大切にして展開してほしい。</p>
	14	<p>学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。</p>	B	<p>○ミシンボランティア等で協力してもらっている。 ○可能な限り自治会等と協力している。 ●今は活用できなくて仕方ない。</p>	B	<p>☆地域の人材を発掘し学校の小さなアシストとして役立つことは子供への見聞をも培えると思う。(読み聞かせやミシンボランティア等) ☆今後のICT教育や英語教育推進での地域人材、保護者ボランティア等を活用するといいたいと思う。</p>
	15	<p>学校は、家庭・地域と連携協力し、児童生徒の課題解決を図っている。</p>	B	<p>●地域の人との交流があまりない。→PTA・地域との合同会議があってもよい ●協力を得られない家庭もある。 ☆家庭との連携がなかなかとれない家庭に対して、学校から個別にメールを送るといった時間に制約されないコミュニケーション手段の解禁ができればよいと思う。</p>	B	<p>☆この件については非常に大切で、将来的にも大切で意義深いことだと思っている。パイプを太くするために努力したい。 ●連携・協力がもう少し必要だと思う。</p>
	16	<p>学校は、学校課題研究(国語科)を推進し、授業実践に努めています。</p>	A	<p>○研究授業をお互いに見られないのは残念だが、動画を見て協議も積極的に参加してくれる。</p>	A	<p>☆学ぶ子供の心を荒らすことなく、学びを楽しむに出来る心をより</p>

学校の重点目標に即した重点目標を達成するための評価項目					大きく育ててもらいたい。 (共通理念として)	
	17	学校は、「新宿っ子3つの柱」(笑顔であいさつ、温かい言葉遣い、もくもく清掃)を子供達に定着させている。	B	<p>○挨拶は、声が小さいがする子が多い。</p> <p>●挨拶・黙々清掃で課題が見られる。</p> <p>●できる子とできない子がいる(言葉遣いが特に目立つ)</p> <p>●乱暴な言葉遣いの子が少し見られる。</p> <p>●1、2、3年生は黙々清掃が課題</p> <p>●3つの柱をいうことのできない児童がまだいる。</p> <p>●黙々清掃の定着が課題。児童の意識もそうだが、教職員の意識も高めていく必要があると思う。</p> <p>☆行動は定着しつつあるが3つの柱そのものを意識している子は少ないので、教師がもっと声に出すようにした方がよい。</p> <p>☆定着できるよう、学級でももっと声を掛けていきたい。</p>	B	<p>○「笑顔であいさつ」がよくできていると思う。</p> <p>☆子供達が「力を合わせる」言葉の大切さを実感できるよう自身も努力していく。</p>
	18	学校は、ユニバーサルデザインの視点による授業づくりとして、学習環境の整備に努めている。	B	<p>○先生方一人一人の意識が高まり、教室掲示の工夫が見られる。</p> <p>○授業でのUD化のための共通の掲示物が作られていてよい。</p> <p>(課題、まとめ等)</p> <p>●できているクラスとできていないクラスがある。</p> <p>☆学校全体としてではなく個人の工夫に委ねられているので、全体として底上げがあるとよいと思う。</p>	A	○まさしくこの視点は教育全体に絡ませて多岐に渡って生かされ、反映されている。